

# 令和4年度 施策レビュー(二次レビュー) 改善提案への対応状況

## 1 基本情報

施策名	5-1-1 する・みる・ささえる・はじめる生涯スポーツの推進		
実施日／グループ	令和4年7月31日(日) グループ②	施策担当部	地域振興部
作成日	令和5年2月13日	記入責任者	地域振興部長 大西 誠樹

## 2 施策の対応状況

### (1) (二次レビュー以前) 施策の実現に向けた課題認識、対応の方向

#### <課題認識>

- ① コロナ終息後の新しい生活様式を考慮した競技に関わる新たな取組みが課題である。
- ② 障害者スポーツや健康増進への関心の高まりなど市民のスポーツへのニーズが多様化しており、運動、スポーツなど市民が体を動かすきっかけ作りの提供が必要である。
- ③ 市内スポーツ施設は老朽化も進んでおり、今後修繕に要する経費の増加とニーズの多様化や人口減少にも対応した施設整備、運営が今後の課題である。
- ④ 本市で開催予定のWMG2027関西について市民の機運醸成が課題である。

#### <対応の方向>

- ① スポーツイベントの開催にあたっては、基本的なコロナ対策の他、競技特性に応じて競技団体が策定するガイドラインの活用などにより規模を縮小しながらもスポーツイベントを再開してきた。
- ② 市民の多様なニーズに対応するため、スポーツ推進委員を研修会へ派遣し指導スキルの向上を図り、障害者スポーツも含めた新たな取組みの企画・立案・実施を行った。
- ③ 大規模スポーツ大会開催の誘致等に効果的な取組みや継続した大会の開催に向けて競技団体等との連携を強化してきた。
- ④ スポーツ施設の維持管理については、福知山市スポーツ推進計画に基づき、必要な施設整備や長寿命化、施設の適正な維持保全に加え、効果的な機能集約など計画的な対応を行う。また温水プールでは、民間資本を全面的に活用し移転整備をすすめている。

### (2) 二次レビューでいただいた主な指摘事項、改善提案等

- ① スポーツ活動を広めていくインフルエンサーに何を期待し何を成果につなげたいのか
- ② スポーツ推進の中核であるスポーツ協会に、委託事業を過度に依存することないように、依存体質から抜け出す必要有り
- ③ 従来事業の延長の取組み姿勢では、事業を消化していくことに力点があり、アクティビティ推進との府内の連動するアクション施策立案必要
- ④ スポーツ関与率を補足するためのアンケートが定期的に行う仕組みができていない

### （3）外部からの改善提案等を踏まえて検討した見直し事項

- ① インフルエンサーとして、第一にはスポーツ推進委員を想定している。そのほか、「チャレンジデー」等市民参加型イベントで、これまでに市民が触れる機会がなく、また一人でも手軽に実施できるスポーツ活動の機会を提供しており、インフルエンサーとしての期待を持っている。
- ② アクティブシティとの連携においては、スポーツ推進委員会が主管して実施する「歩け歩け大会（春・秋）」など市民参加型のイベントを充実させるとともに、新たに採用する「健康アプリ」のほか「ふくちライフ体操」やオンラインによる体操動画などを紹介し、個人でも手軽にできるスポーツ活動の取組みを進めていく。
- ③ スポーツ協会への委託事業は、補助金の代替として委託料となることとないよう、その事業内容も十分に精査し、スポーツ協会の持つ組織力やネットワークを有効に活用できる事業を、スポーツ協会が中心になって担うこととできる仕組みを検討する。
- ④ 令和5年度に「福知山市スポーツ推進計画」の中間改訂を行う予定であることから、令和4年度において、市民アンケートを実施することとしている。今後、Web等も活用した簡易なアンケートも含めて、「スポーツ関与率」の定期的な補足について検討していく。

### （4）予算要求、査定結果を踏まえて、次年度に向けた課題の捉え方、改善点、取組みの方向性等

- ① チャレンジデーの開催やスポーツ体験会を年間通して実施することにより、スポーツのきっかけとなるよう取り組む。また、新設される温水プールは、民間事業者の設置・運営となることから、市民のプール利用料を一部負担し運動するきっかけづくりのほか、市民の健康増進に取り組む。
- ② 大規模なスポーツ大会を本市で開催することにより、市民のスポーツへの関心を高めるとともにWMGの機運醸成につなげる。
- ③ 市民体育館については、主要施設の集約等の整備方針が決まるまでの間、必要な施設整備を行う。

## 3 改善提案等を踏まえた主な事業の対応状況

### （1）生涯スポーツ推進事業

#### チャレンジデー事業

- ① 生涯スポーツ社会の実現に向けて、市民の多様なスポーツニーズに対応した幅広くスポーツに親しむ機会を提供する。また、民間事業者により新しく開設される温水プールの利便性を確保し市民の皆様の健康づくりや生きがいづくりに繋がる環境づくりを行う。

## (2) スポーツ振興事業

全国規模のスポーツ大会等を誘致・開催し市民のスポーツへの関心と競技力を高め、更なるスポーツ振興を図るとともに 2027 年開催の WMG の機運醸成につなげる。

- ① 福知山市ソフトテニス協会を中心とした誘致活動により、令和 5 年度から、関西学生リーグ（ソフトテニス）が定期的（9 月）に開催されることが決定した。  
このような状況を踏まえて、各競技団体と連携し全国規模の大会誘致を進めていく。
- ② 特にソフトテニス競技においては、WMG2027 の福知山市実施種目であるため、従来から実施していた「ミックスダブルス」を令和 4 年度から WMG のプレ大会と位置付け、参加カテゴリーを WMG と同様の種目として、全国からの選手を募集し、WMG のプレ大会として実施する。
- ③ WMG に向けた取組みは、市内外のソフトテニス愛好家をはじめ、市内ソフトテニス未経験者を対象（する）、機運醸成による市民への波及（みる、支える）と、市内の各種業界（旅館・ホテル、観光、飲食）等とも連携し、市民スポーツの振興と、市域の活性化を図るものである。